

(令和6年度補正分)

地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書

(市町村分)

個票

自治体名

長野県飯島町

本事業の担当部局名

企画政策課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1.2_1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進						
個別事業名		飯島町出会いの場創出事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度
総事業費(A)(円)		3,000,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	3,000,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		3,000,000						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	3,000,000	0	0	0	0	3,000,000	
	対象経費支出予定額	3,000,000	0	0	0	0	3,000,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通 飯島町の人口は平成7年では10,989人をピークに減少傾向が続き、令和2年は9,004人まで減少している。また、出生数も年間50前後で推移し、現在は40台と10年前に比べて約7割ほどになり、深刻な状況となっている。 上記の状況から、少子化の流れを食い止め、緩やかな人口減少と年齢構成バランスを維持した持続可能な地域を実現していくため、町では第6次総合計画の中に若者の交流機会の創出から結婚、出産、住まい、子育てに係るまでの取り組みを盛り込むとともに、各課分野を横断しての取組をすすめている。						
		＜本個別事業の位置付け＞ 町では「飯島町第6次総合計画」を令和3年度に策定し、少子化対策について計画的に取組を進めている。 その総合計画では、少子化対策に係る戦略として「魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり」を基本目標にをかがけ、『若い世代の結婚を応援』の施策の推進をすすめている。 令和7年度においても、引き続き基本目標達成のため施策の推進をすすめていく。						

番号	項目	内容
1	出会いの場創出プログラムの開催	男女が自然な出会い・交流を持つことができるようなイベントを企画・運営可能な民間業者へ委託し、出会いの機会を作る。 イベント各回には、グループワーク等の体験型・協力型の内容を入れたものとする。自然とコミュニケーションにつながるものとする。結婚に消極的な若者世代に対し、『結婚』と大々的にうたわずとも、婚活に対し身構えをせず参加しやすくする。 また、移住婚も視野にした内容を入れ、「スキルアップ」系と、「交流・イベント」系といった内容の充実を図る。 ・全3回の交流プログラムの実施(イベントを企画・運営可能な民間業者へ委託) ○移住婚希望者の田舎体験交流プログラムの実施 【内容】果物の収穫等農業と田舎暮らし体験(開催時期により内容は検討) 【参加対象】県外在住20～40代の独身者 ※男性については当町在住者が基本 【参加人数】40名(男女15名) ○新成人交流プログラムの実施 【内容】20歳を祝う集い後の交流会 【参加対象】20歳を祝う集い対象者 【参加人数】50名(男女各25名) ○社会人対象異業種交流プログラムの実施 【内容】ライフデザインセミナー、マナー研修等 【参加対象】社会人(40歳前後の独身者) 【参加人数】40名(男女各20名) (他の取組との有機的連携) ・イベント参加者へ町の結婚相談所について紹介、定例結婚相談について周知を図る。 ・町結婚相談員による事前・事後のフォローアップを行い、気軽に婚活について相談できる体制の整備を進める。 ・参加者へ長野県のマッチングシステム「NAGANO ai MATCH」等の周知を図る。 (自治体間連携や周知広報について) ・イベント周知については町広報誌、町ホームページ、SNSへの情報掲載のみならず、上伊那郡内(伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、南箕輪村、中川村、宮田村及び当町)の結婚相談所及び上伊那結婚相談促進連絡会(上伊那郡内(伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、南箕輪村、中川村、宮田村及び当町)の結婚相談員や支援員による集まり)へもチラシ配布等依頼をし、周知を行う。また、町公共施設(公民館4箇所、文化館1箇所等)へもポスター掲示を行う。社会人向けには、町商工会経由で企業に向けて周知依頼する。
2	アンケート調査・分析	・各イベント参加者へのアンケート調査の実施、分析レポートの提出
3	他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法	結婚支援は、広域的な取組がより効果を高めるため、県と市町村の連携により全県的な取組の強化を図っていく。具体的には、以下の方法とする。 ・ながの結婚マッチングシステム「NAGANO ai MATCH」を通し、市町村は広域的なお見合い支援を実施する。県は、マッチングシステムの運用支援等を通し、市町村をサポートしていく。 ・セミナー開催については、参加企業・団体の募集には市町村の協力を得る代わりに、交流機会の中で市町村の相談所等支援拠点への登録促進と市町村開催イベントへの参加呼び掛け、新システムに関する情報発信を行う。 ・各市町村は、チャフルながの(県の結婚・妊娠・子育てのポータルサイト)において、各市町村のイベントやセミナーの参加促進に向け、周知広報や開催協力の面で広域連携を図る。 ・結婚応援パスポートについて、結婚新生活支援事業とあわせて、全市町村の婚姻届窓口等にてパスポートの広報を行う。 【自治体間連携により実施する事業】 長野県:しあわせ信州結婚応援事業(業種間交流の実施、マッチングシステムの運用) 飯島町:出会い・婚活事業(結婚支援体制の整備、マッチングシステムを活用した結婚支援) 出会いの場創出事業 婚活イベント(出会いのイベントの開催) 【自治体間連携により効果的・効率的になる内容】 ・県と市町村間で役割分担をし、連携を密にすることで、当町を含めた県全体の結婚支援体制の強化を図る。 ・市町村単独では、参加範囲やPR効果が限定的なため、新たな広域的な出会いの機会を県が実施することにより、従来の範囲を超えた出会い・交流の場づくりが可能となる。
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・町ではリアルでの出会いの場となりうるイベントも少ない。 ・令和6年度は、多くの方に参加しやすいような夏場の企画も検討していたが、他イベントに企業や団体として参加するところもあり、思うように調整ができなかった。また、若い世代は結婚に対して消極的な面もあり、類似イベントにも参加が低迷気味であったと聞く。 ・令和7年度は、ターゲット層の情報を基に実施時期の分散化、早期から企業のみならず団体(例えば消防団)も巻き込んだ事業を実施する。 ・出会いの機会の場を「スキルアップ」系と、「交流・イベント」系で実施し、参加しやすい選択肢を作る。 ・若い世代をターゲットに、自然な出会い・交流ができる内容・機会であるとして、婚活に対し身構えをせず参加しやすくする。 ・結婚支援事業にノウハウのある民間業者に委託することにより、より効果的な事業実施を行う。また、ひとつの業者に限らず、それぞれに事業に強みのある民間業者委託も検討する。 ・女性の県外からの移住婚・出会いも視野にした事業実施をする。		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	出生数		人	60	38 (R5年)
	婚姻数		組	50	17 (R5年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.08 (R5年)	
	婚姻件数		件	17 (R5年)	
	婚姻率			1.96 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	イベント募集定員に対する参加者数の割合	%	90	80 (R6年度見込)
	②	結婚相談所会員登録数	人	35	25 (R5末)
	③	マッチング成立組数	組	5	0
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	85	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	50	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	50	---
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				